

**中小企業成長支援ファンド「i-nest1号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結**

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永厚志）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、i-nest1号有限責任事業組合を無限責任組合員（以下、GP）とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として20億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『i-nest1号投資事業有限責任組合』は、GPがハブとなって、起業家（innovator）・投資家（investor）・ベンチャーキャピタル（incubator）の三者によるWin-Winの協業を推進することにより、新産業創造と生産性向上の実現を目指すファンドです。このファンドを運営するGPは、投資先の育成に加えて、日本では数が少ない起業経験を有するキャピタリストを育成することにも取り組みます。

中小機構は、このようなGPの投資・支援活動を通じて、起業経験者が次世代を担うキャピタリストとなる成功事例が生まれ、同様の取り組みが広がることで、ベンチャーキャピタル業界の発展につながることを期待して出資するものです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：秋吉、豆谷）

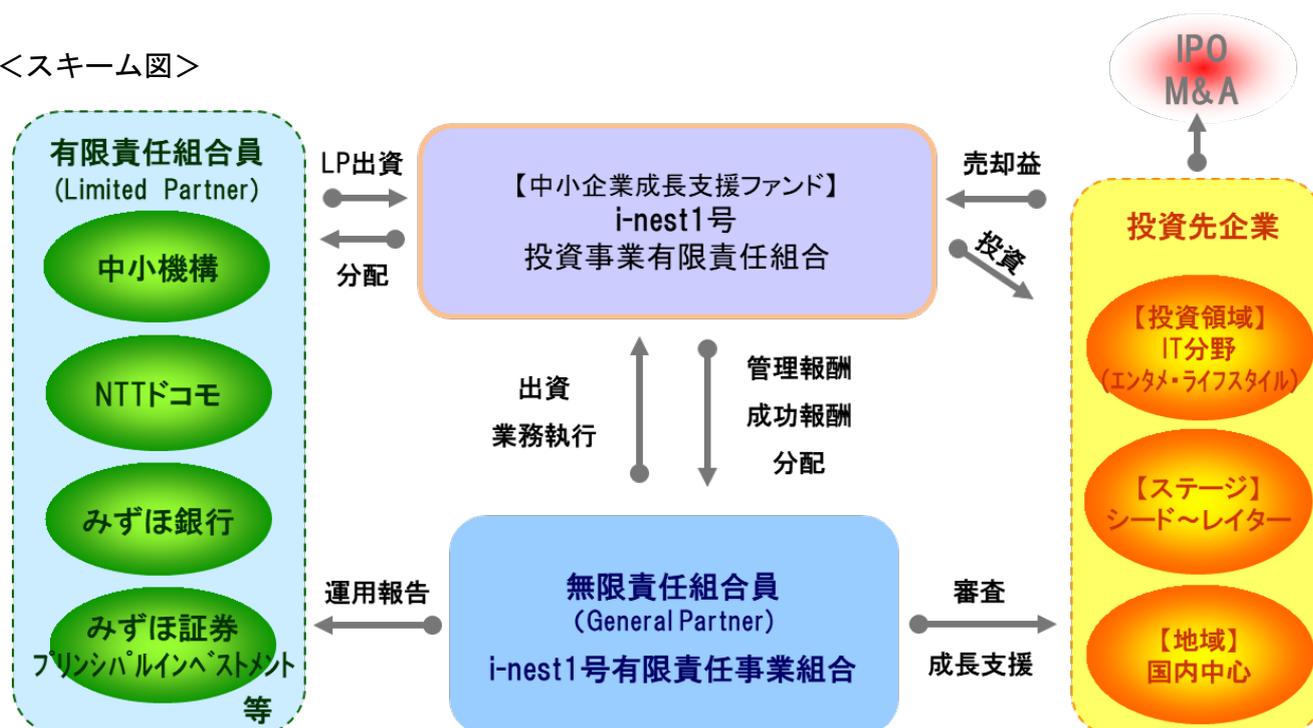
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆ 「i-nest1号投資事業有限責任組合」の概要

- 「i-nest1号投資事業有限責任組合」は、i-nest1号有限責任事業組合をGPとして、2019年12月に設立された投資ファンドです。引き続き出資者の募集を行うことで、総額60億円程度の規模とすることを予定しております。
- i-nest1号有限責任事業組合は、i-nest capital(株)とパートナーで構成される、上記ファンドの運営事業体です。
- i-nest capital(株)（所在地：東京都目黒区、代表取締役社長：山中 卓氏）は、15年以上のベンチャー投資及び育成の実績を持つ代表取締役社長・代表パートナーである山中氏と、独立コンサルタントとして約50社の支援実績を持つ同社取締役・パートナーの塚本氏が中心となり、2019年5月に設立されたベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supporttter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supporttter_fund_investment_04.pdf